

# Rガラス砂製品があいくる材に認定

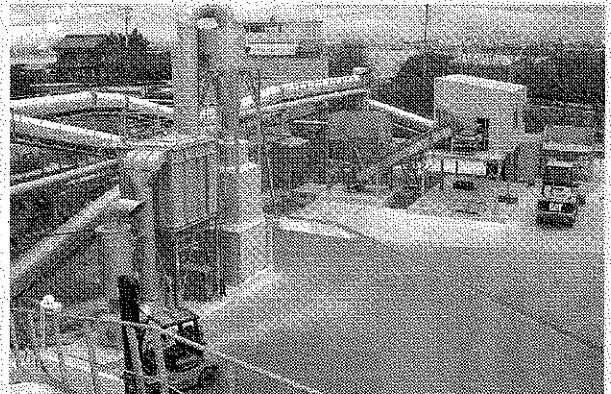
## 新東名工事で9000m<sup>3</sup>利用

トーエイ

トーエイ(愛知県東  
浦町、今津昭社長、☎  
0562・803・38  
80)が手掛けるリサ  
イクルガラス造粒砂  
「サンドウエーブG」  
が8月末、あいくる材  
(愛知県リサイクル資  
材評価制度)に認定さ  
れた。透水性舗装のフ  
ィルター材の他、軟弱  
地盤改良工事のバイル  
砂や路床材、暗渠資材、  
排水管等の埋め戻し  
材、太陽光発電所の防  
草用資材といった用途



新東名工事で採用



プラントの  
ようす

り、製品  
化。今回  
の認定を  
受け、県  
内公共工  
事での利  
用促進を  
図り、年  
間1万2  
000立

があり、最近では、N  
EXCO日本が手掛  
ける新東名高速道路工  
事で採用され、9000  
0立方メートルを受注した。

方での利用を目指す。  
同製品は透水性に優  
れており、路床材に活  
用すればヒートアイラ  
ンド現象の抑止効果や  
豪雨時の浸水被害の軽  
減・地下水保全に役立  
つ。液状化現象・雑草  
対策にも効果を発揮  
し、材料としての経時  
変化がないのが強み。  
安全面では、有害物質  
溶出試験をクリア。自  
然砂の代替材として、  
山砂採取による環境破  
壊を防ぐメリットもあ  
る。また、同製品はN  
ETISやエコマーク

原料は、▽ガラスび  
ん▽飲料びん▽板ガラ  
ス▽食器▽試験管―  
などで、ガラスリソ  
ーシング(千葉県)が開  
発した特殊破碎技術に  
より、直径0.5・5  
10ミリの角の取り除  
かれたガラス粒に加工  
する。トーエイのプラ  
ント(一陸・産廃許可  
取得)では、月150  
0ト程度受け入れてお

ETISやエコマーク

およびカーボン・オフ  
セット認証も取得して  
いる。

2008年12月に、  
ガラスリソーシングや  
トーエイなどの製造企  
業グループを中心に構  
成されたリサイクルガ  
ラス造粒砂協会が設立  
され、協会員による全  
国ネットワークで、同  
製品の引き合いは年々  
高まっているという。

同社担当者は、「あ  
いくる材の認定に至っ  
たのは、安全性を実証  
し、汎用性が認められ  
たため。色つきのガラ  
スびん等は、従来のリ  
サイクルルートに乗ら  
ず、埋立処分されるこ  
とが多いが、サンドウ  
エーブGに製品化する  
ことで再資源化が可能  
だ。一般家庭から出た  
ガラスの食器類も近隣  
の自治体より受けてい  
る。地元から出た廃棄  
物を地元の公共工事に  
有効利用し、地産地消  
による循環型社会を築  
いていきたい」と話し  
た。